



いつでも命を守る行動を！

七月末、北海道から千島海溝・日本海溝沿い巨大地震の被害想定が公表されました。最も死者数が多いと推計される「冬の夕方」に津波が発生した場合、管内全体で約三三〇〇人も死者が出るそうです。「地震が来たら、どこへ逃げればいい？」など、いざという時にどうしたらいいのか、災害が来た時に慌てないように情報を集めておくという避難先は、おうちの中で話し合っていますか？津波時に、子どもが保護者と別々の場所においても、子どもだけで命を守る行動がとれるといいですね。

九月一日は「防災の日」です。この時期はメディアで、いつもより多く防災のことが話題にされます。最低でも年に一度、いつかやってくる「その日」のために、おうちの中でぜひ話し合ってみませんか。

入れ替えを忘れない

自宅に食料・飲料などは備蓄されていますか？
準備されている方も、年に一度程度は、その量と消費期限をチェックできるといいですね。
消費期限が近い乾パンなどは、子どもの「おやつ」になるので、備蓄食料の「味見」をしながら、ぜひご家庭と一緒に作業をしてみてください。
古くなった非常食の代わりに、新しい味の防災非常食の代わりに、新しい味のものもいろいろありますね。



おうちの人全員で備えを

落下によるケガ注意

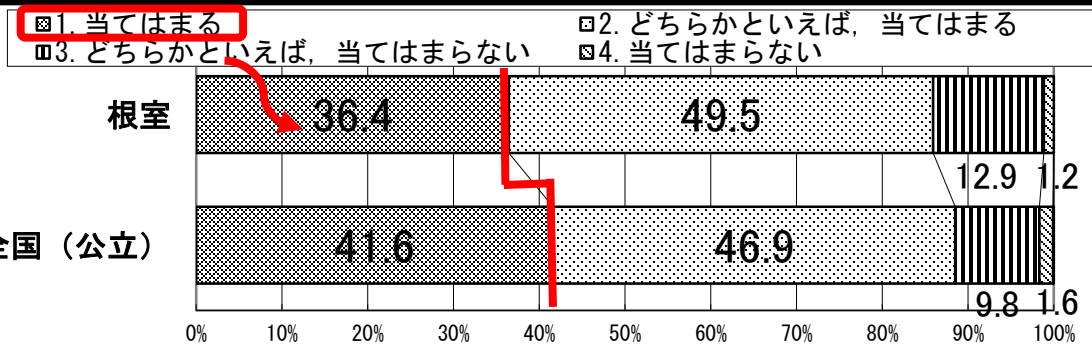
地震による家具類の転倒・落下による怪我等にも気を付けてください。
家具類を少し押してみても、グラグラするようであれば要注意。(この時に、「怪我をしないように気をつけてください」)「つっぱり棒」などで、家具類が、びくともしないような工夫が必要かもしれませんね。
屋内外問わず。子どもたちが、自分の身は自分で守ることができるよう環境整備しておくことが大切です。



ねむろ子ども情報

令和3年度(2021年度)全国学力・学習状況調査における根室管内と全国(公立)との比較

【中学校】人が困っているときは、進んで助けていますか？



根室管内の中学校三年生では、約三六%の生徒が「当てはまる」と回答しており、全国平均より約五%少なく回答しています。
ふだんからお互いに手を差し伸べあい、災害などの緊急時でも助け合うことができるといいですね。